

DMG森精機株式会社

2025年度第1四半期決算(1-3月) 説明資料

2025年5月7日

1. 2025年度第1四半期（1-3月）決算概要、年度予想

米国関税の影響は軽微、欧州各国の投資喚起政策で需要回復期待

2. 事業環境

3. オープンハウス・フロンテン、シカゴ・プライベートショー、CIMT（北京）

4. MX推進:

- 奈良事業所開所
- ドイツ・ヴェルナウ テクノロジーセンタ（シュトゥットガルト）、リニューアルオープン
- 長岡地区（DMG MORI Precision Grinding/太陽工機、DMG MORI Precision Boring）再編

5. 環境対応、人的資本の取組み

- CDP2024 気候変動「Aリスト企業」認定
- 健康経営銘柄に2年連続選定

決算ハイライト

DMG MORI

✓ 連結受注額：1,207億円、前四半期比(2024年10-12月) 5.4%増

✓ 機械受注平均単価：78.5百万円(2024年度：71.0百万円 / 11%増)、489千EUR (同：433千EUR / 13%増)

✓ MRO(メンテナンス・リペア・オーバーホール)、スペアパーツ、エンジニアリング受注額：301億円、前四半期比同水準。連結受注に占める構成比 25% (前年度：25%)

✓ 2025年3月末機械受注残 2,235億円 (2024年12月末：2,180億円)

✓ 米国による相互関税の影響は軽微（サーチャージで対応）。欧州、中国、インドのお客様の投資意欲は回復基調

✓ 2025年1-3月期実績：売上収益 1,140億円 (前年同期比：14.2%減)、営業利益 18億円(同：85.5%減)、営業利益率 1.6% (前年同期：9.4%)、当期利益 2億円、当期利益率 0.1%

✓ 2025年通期計画維持：売上収益 5,100億円(前年度比：5.7%減)、営業利益 380億円(同：13.1%減)、営業利益率7.5%、当期利益 200億円
年度 1 株当たり配当金 105円を計画

注) 通期業績計画に、ロシア工場収用に伴う、求償中の保険金の影響は織り込んでいません。

✓ お客様のデータ・ハンドリング向け需要が拡大（AI関連データセンター投資、次世代通信・人工衛星、発電関係）

✓ 宇宙、航空、エネルギー、防衛向け好調

✓ MRO、エンジニアリング事業好調

2025年度 第1四半期 (1-3月)決算概要

DMG MORI

(1-3月期)					(年度)			
(億円)	2023年 1Q	2024年 1Q	2025年 1Q	増減 (%)	2023年	2024年	2025年 見通し (2月5日公表)	増減 (%)
連結受注	1,453	1,368	1,207	-11.8	5,200	4,960	5,300	+6.9
連結受注残	2,690	2,630	2,235		2,470	2,180	—	
売上収益	1,232	1,329	1,140	-14.2	5,395	5,409	5,100	-5.7
営業利益	97	125*	18	-85.5	554	437	380	-13.1
営業利益率	7.9%	9.4%	1.6%		10.3%	8.1%	7.5%	
継続事業からの当期利益	62	80	2	-97.1	354	231	200	-13.4
ロシア製造会社 連結除外損失	-0	-148**	—		-12	-151**	—	
当期利益 (親会社所有者帰属)	63	-69	2		339	77	200	2.6倍
償却費(リース含む)	62	74	81		263	315	350	
設備投資額	110	81	57		425	438	300	
USD/JPY	132.4	148.6	152.6		140.6	151.6	143***	
EUR/JPY	142.1	161.3	160.5		152.0	164.0	160	

*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社 (旧倉敷機械株式会社) を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。
修正前の同期間の営業利益は108億円でした。

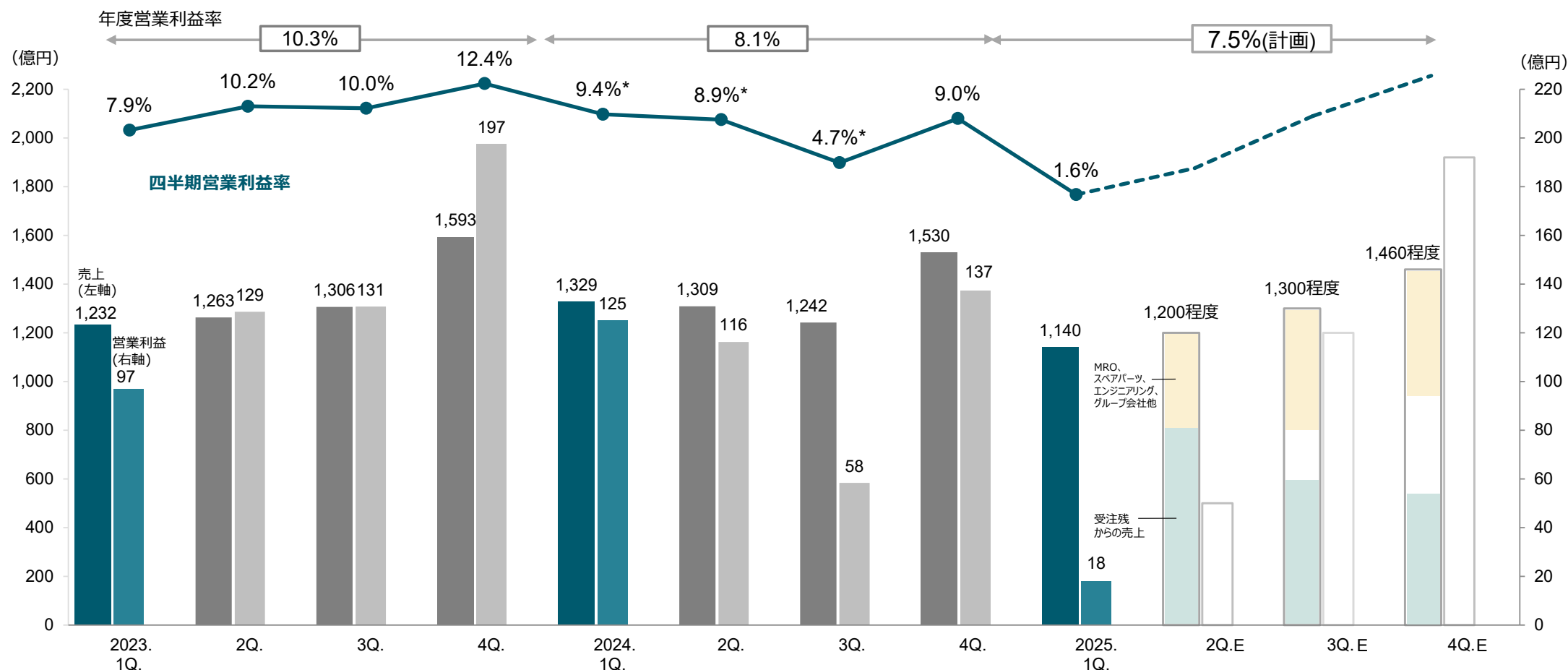
***2Q以降の想定レート
USD/JPY = 140

**2024年第1四半期に、ロシアの製造子会社がロシア政府に収用されたことにより、一過性の連結除外損失91.8百万EUR (EUR/JPY=161.3換算で148億円 | EUR/JPY=164.0換算で151億円) を認識。

四半期業績推移

DMG MORI

- ・ 第1四半期(1-3月)の営業利益率は1.6%に低下。売上減及び為替差損の影響大
- ・ 年度営業利益率は7.5%予想



*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring (旧・倉敷機械株式会社)を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。

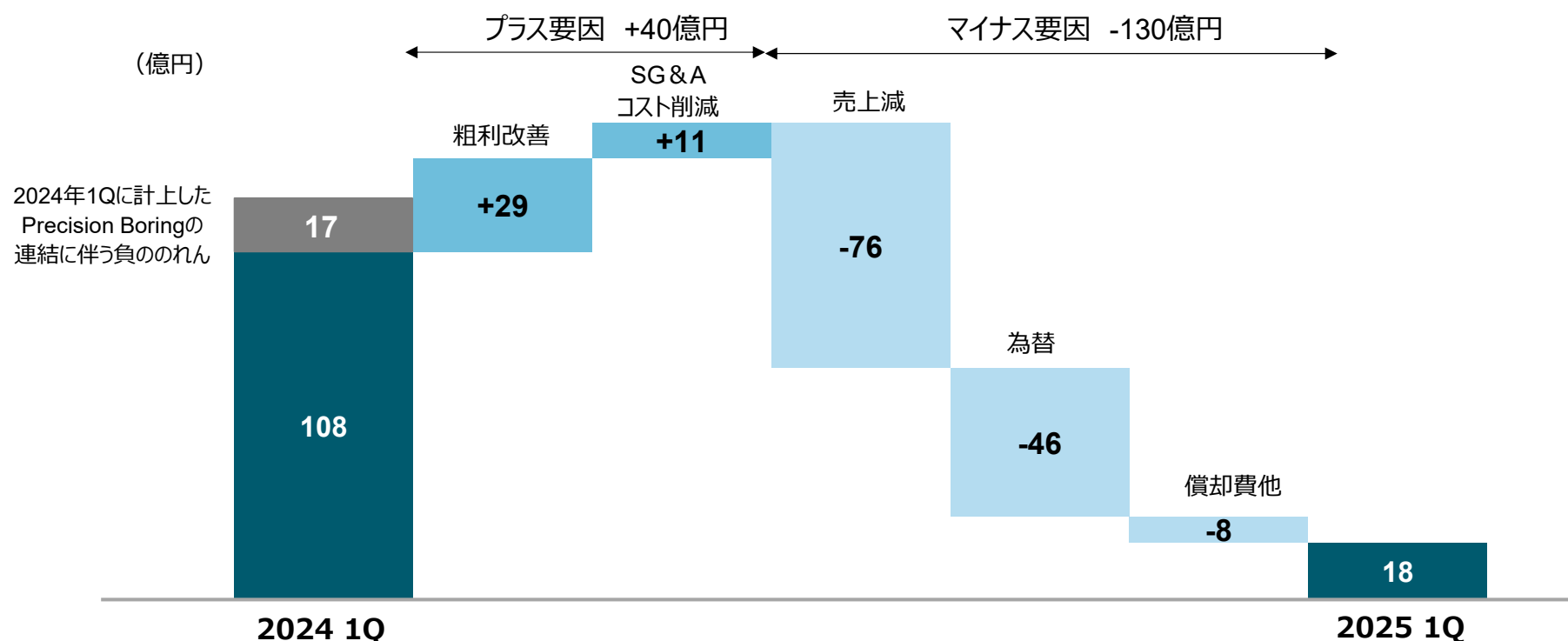
営業利益増減分析 2024年度1Q vs. 2025年度1Q

DMG MORI

- ・ 値引率低減及び製造部門の生産性改善による粗利改善は計画通りに進捗
- ・ 売上減及び為替の影響が減益の主要因

(億円)	FY2024.1Q	FY2025.1Q	増減
売上収益	1,329	1,140	-188

		<u>FY2024.1Q</u>	<u>FY2025.1Q</u>
為替レート：	USD/円	148.6	152.6
	EUR/円	161.3	160.5



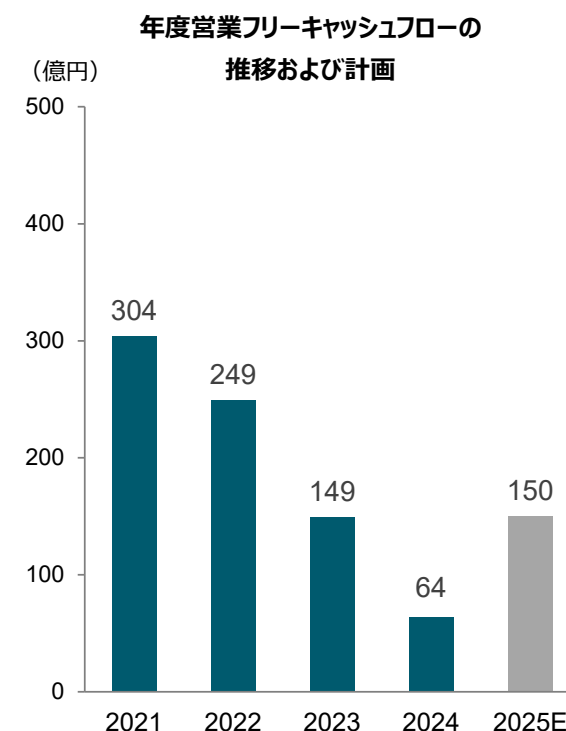
*2024年第1四半期にDMG MORI Precision Boring株式会社（旧倉敷機械株式会社）を連結開始した際に発生した負ののれん計上を遡及修正しています。
修正前の同期間の営業利益は108億円でした。

キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 営業フリーキャッシュフローは89億円の赤字。年度では150億円の黒字計画。設備投資を計画通り抑制。年度設備投資300億円以内
- ・ 債権回収、棚卸資産削減は予定通り進展。仕入債務の減少及び前受金の減少が運転資本の減少要因

(億円)	2023					2024					2025				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q E	3Q E	4Q E	FY (E)
営業キャッシュフロー	93	51	58	315	516	95	-94	110	336	446	-38	78	180	230	450
税引前四半期利益	85	112	117	165	479	110	104	38	119	371	4				
償却費	62	63	68	72	265	74	78	78	85	315	81				
運転資本増減	-17	-102	-71	99	-91	1	-138	14	118	-5	-46				
その他	-37	-23	-56	-21	-137	-90	-138	-20	14	-235	-77				
投資キャッシュフロー	-111	-101	-96	-59	-367	-106	-64	-96	-117	-382	-51	-78	-80	-91	-300
営業フリーキャッシュフロー	-18	-50	-39	256	149	-11	-158	14	219	64	-89	0	100	139	150



貸借対照表サマリー

DMG MORI

- ・ 為替の影響額 マイナス120億円。棚卸資産は漸減
- ・ Net/D/Eレシオは0.26と低位維持

資産の部

	7,976億円	7,836億円
短期金融資産	444	455
営業債権	667	625
棚卸資産	1,900	1,834
有形固定資産	2,413	2,382
のれん	900	883
無形資産	1,106	1,095
その他資産	545	563
	2024年12月末	2025年3月末

期末日レート (EUR / JPY) 164.9 162.1

負債・資本の部

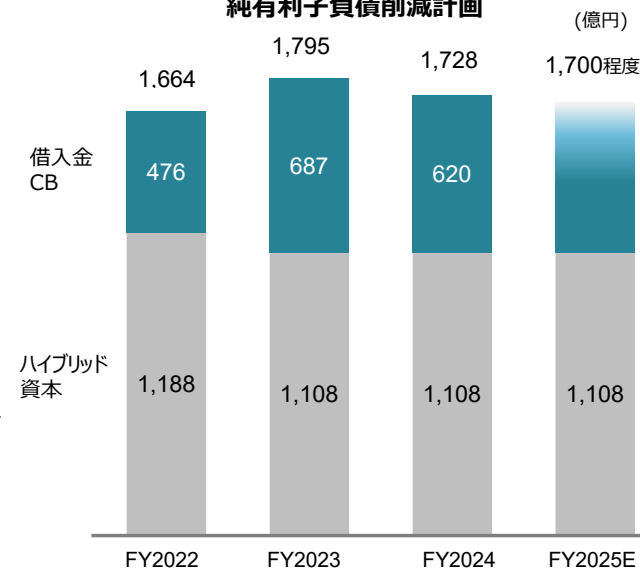
	7,976億円	7,836億円
仕入債務	751	638
契約負債 (前受金)	846	785
有利子負債	1,065	1,261
AG株式買取債務	602	592
その他負債	1,547	1,497
株主資本 (内、ハイブリッド資本 : 1,108億円)	3,145	3,048
	2024年12月末	2025年3月末

株主資本比率 39.4% 38.9%
 純有利子負債 620億円 806億円
 Net D/Eレシオ 0.20 0.26

Net D/Eレシオ (除くハイブリッド資本)



純有利子負債削減計画



米国関税の影響は軽微

DMG MORI

- ✓ 米国の相互関税はサーチャージで対応
- ✓ 米国4月7日契約分工作機械より、お客様との契約条件改定済み
- ✓ 米国4月の受注も好調



*MRO：メンテナンス/ リペア/ オーバーホール

欧州各国による税制優遇・補助金 + プライベートショーによるMX促進

DMG MORI

- ✔ ドイツ 防衛予算拡張
税制優遇：30%/年の加速度償却検討
- イタリア 省エネルギー関連設備投資：最大35%の税額控除
- ハンガリー 中堅・中小企業に対し、投資額の最大30%の補助金
- ✔ プライベートショーや展示会でもお客様からの引合い増。お客様の投資への姿勢に変化の兆し



Incentives planned



オープンハウス リヨン (フランス)

期間	Mar. 11 – 14
----	--------------



オランダ・オープンハウス

期間	Mar. 18 – 21
----	--------------



テクノロジーデイズ ブルノ (チェコ)

期間	Mar. 19 – 21
----	--------------

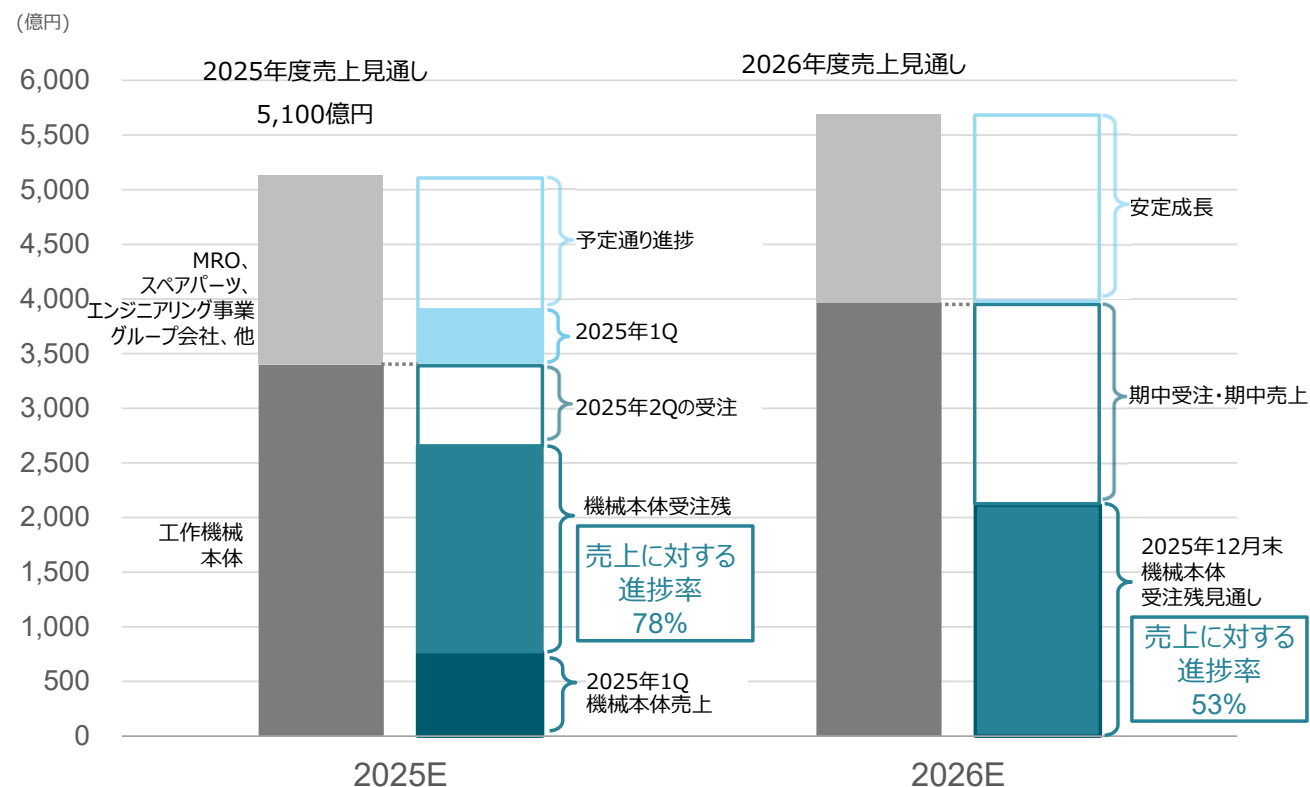
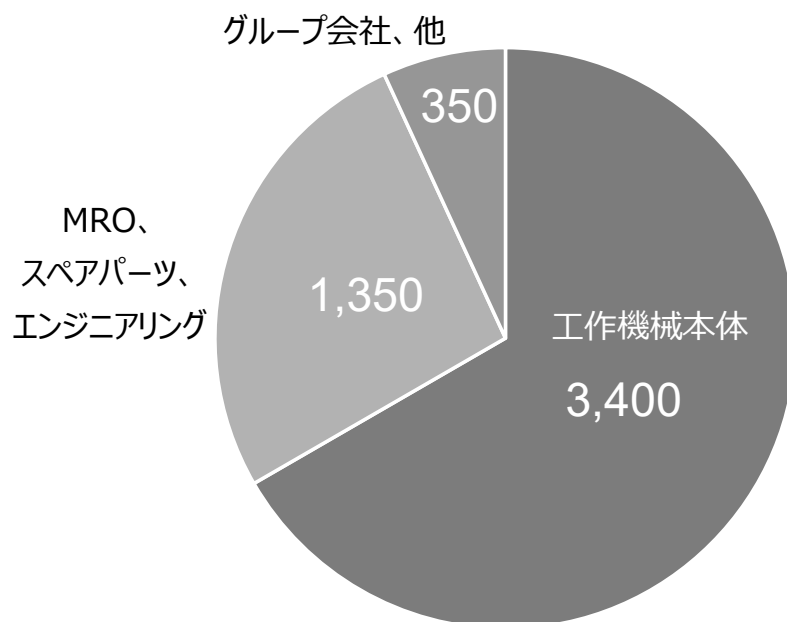


年度売上計画達成確度高まる：工作機械売上の78%受注確保

DMG MORI

- ・ 工作機械本体の年度売上達成に向けての受注残進捗率は順調に推移。グローバルベースでの進捗率は78%
- ・ オペレーター不足、AIのデータセンタ・電源確保、エネルギー政策に向けて中長期投資計画は旺盛。2026年の売上に向けて受注残も拡大

2025年度見通し 売上高 5,100億円

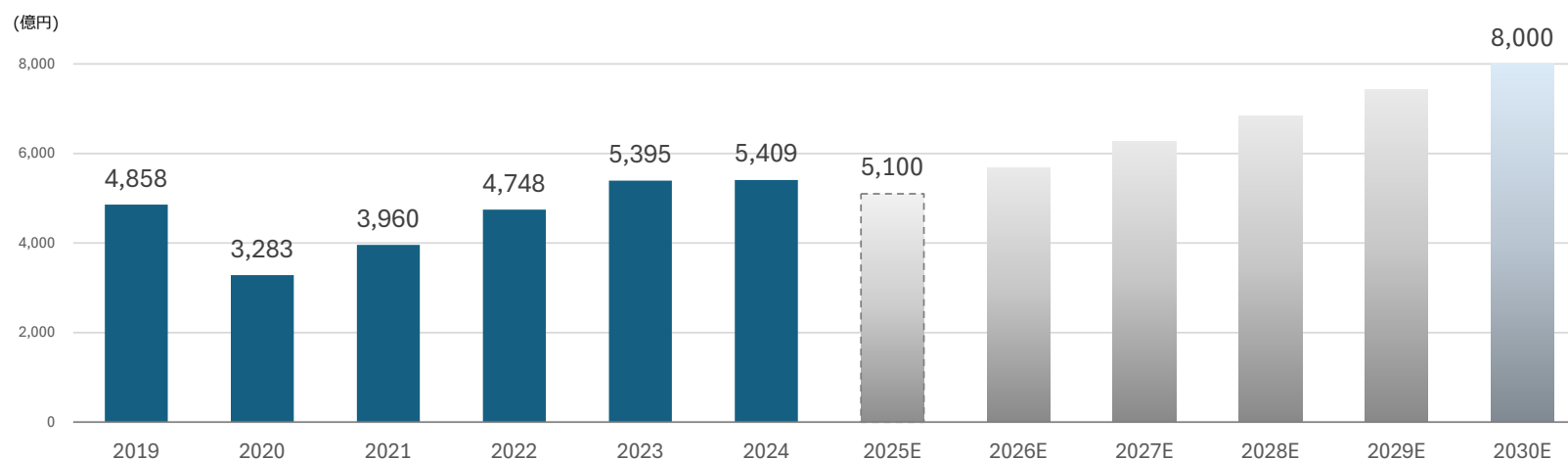


2030年目標 達成に向けての戦略は不変

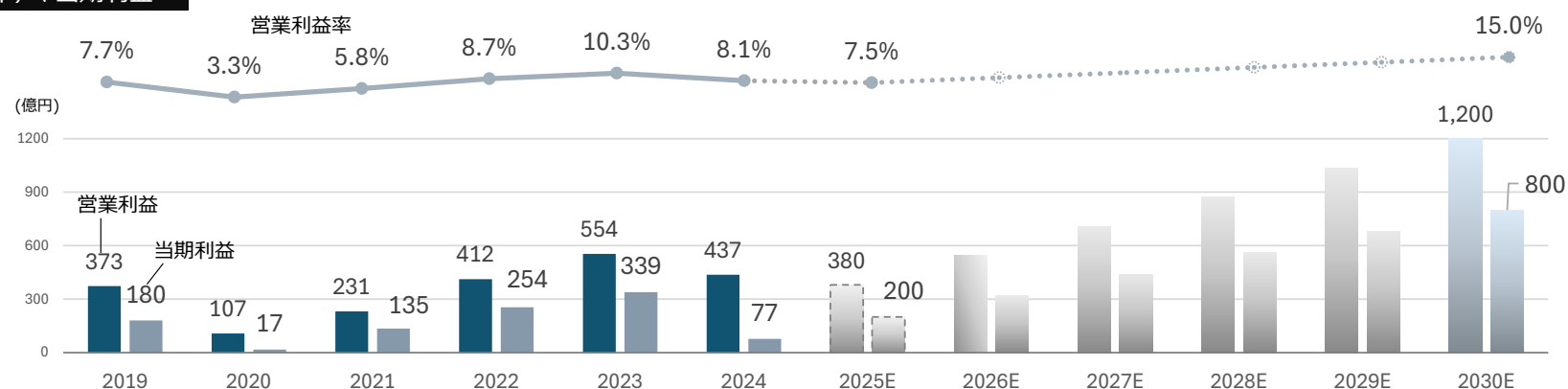
DMG MORI

- ・ グローバルオペレーターの不足・高精度加工要求による工程集約・自動化需要はますます高まる。DMG MORIの引合いは高水準で推移
- ・ 2025年12月期の業績見通しは、期初から変更なし。今期を底に来期から再度増収増益を予想

連結売上収益



営業利益（営業利益率）、当期利益



1. 2025年度第1四半期 (1-3月)決算概要、年度予想

米国関税の影響は軽微、欧州各国の投資喚起政策で需要回復期待

2. 事業環境

3. オープンハウス・フロンテン、シカゴ・プライベートショー、CIMT（北京）

4. MX推進:

- 奈良事業所開所
- ドイツ・ヴェルナウ テクノロジーセンタ（シュトゥットガルト）、リニューアルオープン
- 長岡地区（DMG MORI Precision Grinding/太陽工機、DMG MORI Precision Boring）再編

5. 環境対応、人的資本の取組み

- CDP2024 気候変動「Aリスト企業」認定
- 健康経営銘柄に2年連続選定

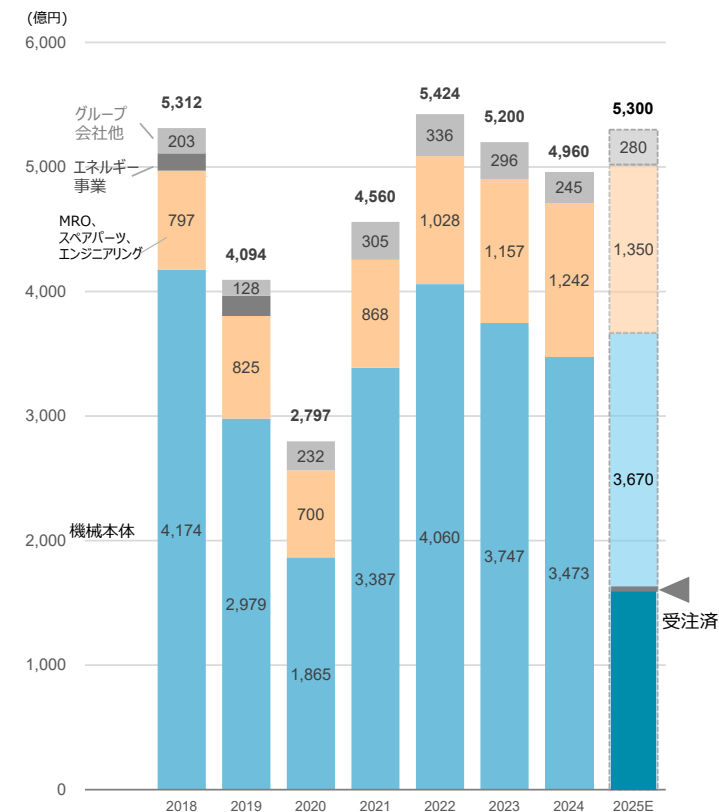
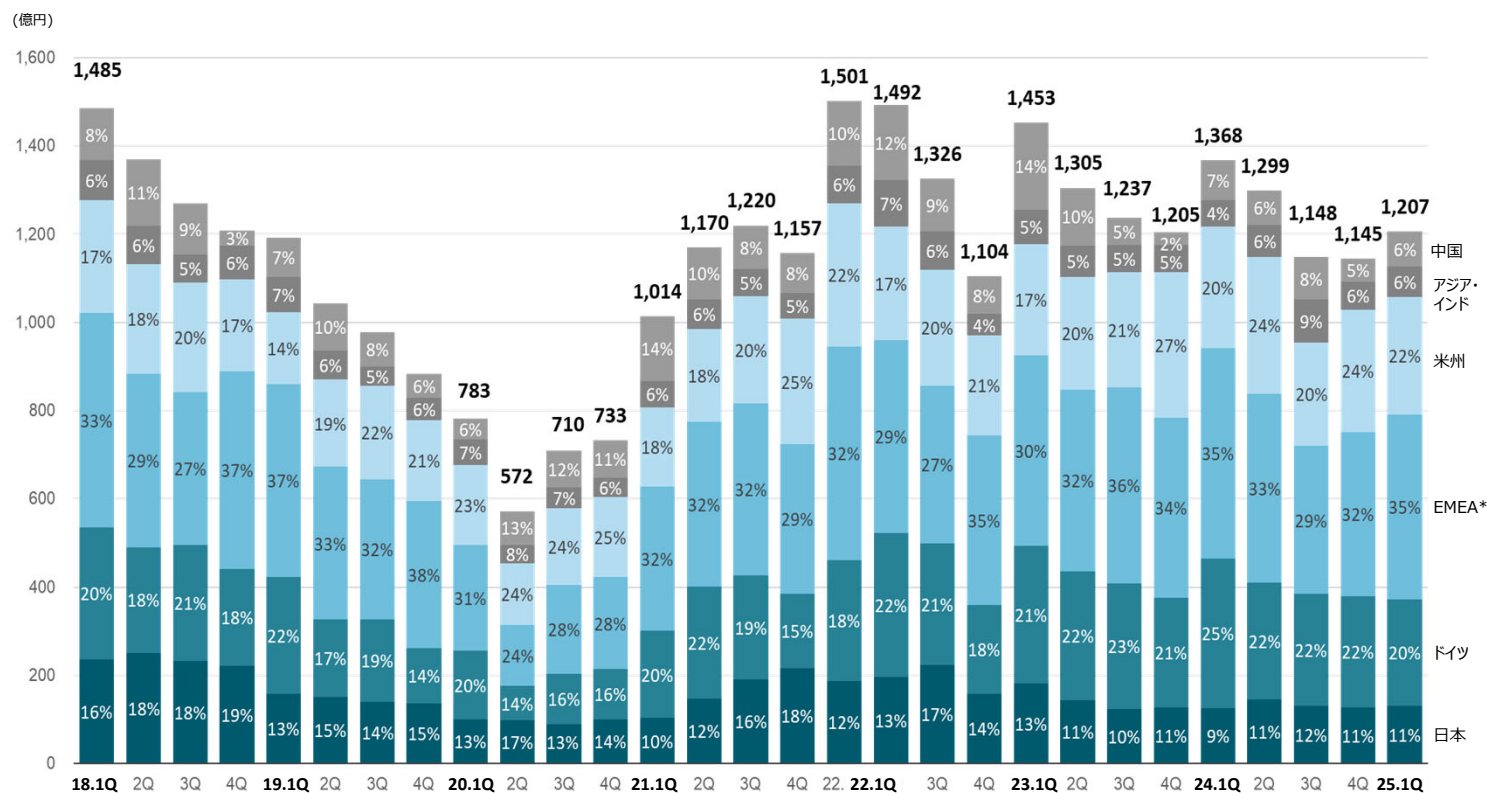
連結受注推移

DMG MORI

- ・第1四半期の連結受注額は、前四半期(2024年10-12月) 比5%増と回復
- ・EMEAの需要は堅調。その他地域は横ばいで推移

四半期

年度



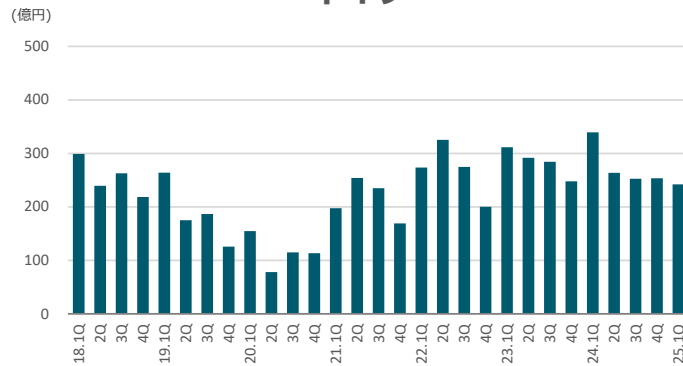
*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa

地域別受注推移

DMG MORI

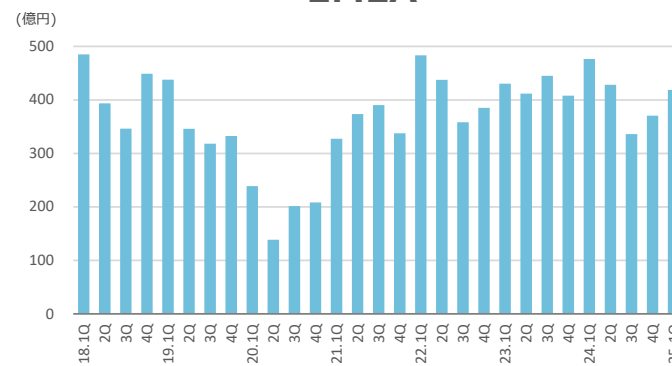
- EMEAの受注は、2024年第3四半期を底に順調に回復。航空・宇宙、医療、エネルギー関連向け需要が牽引
- EMEA以外の地域の受注も横這い圏で推移。米国では、大手企業プロジェクトが計画通りに推移

ドイツ

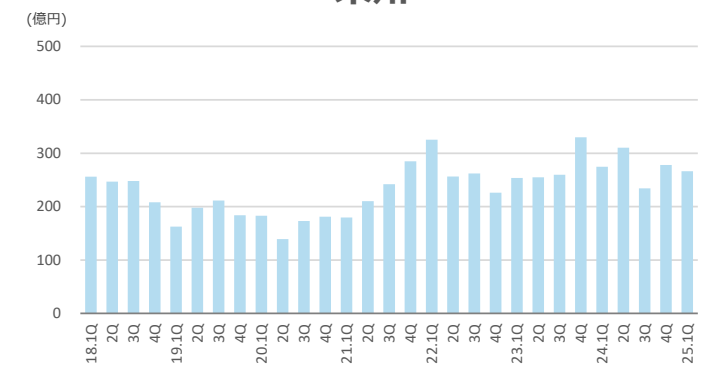


EMEA

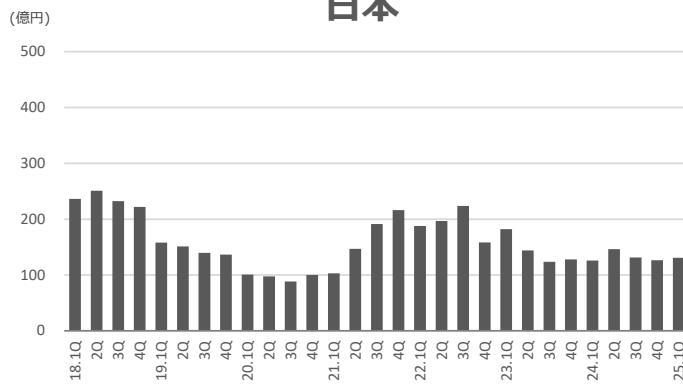
*Europe excl. Germany, the Middle East and Africa



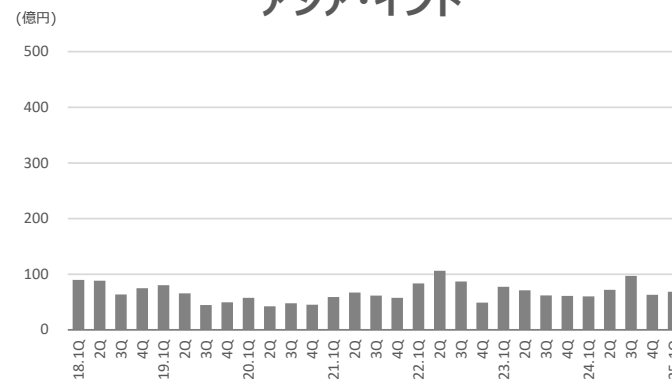
米州



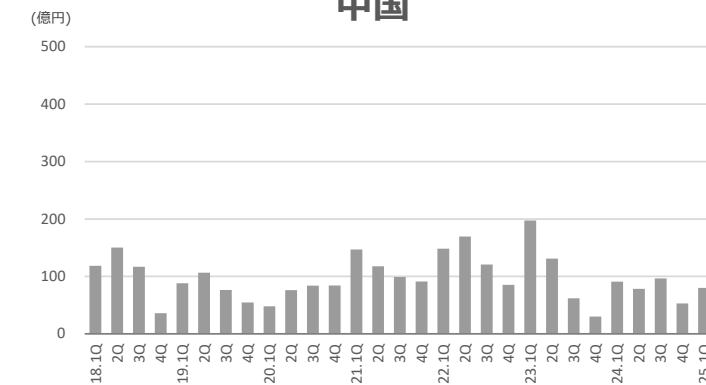
日本



アジア・インド



中国



連結受注構成 (1-3月)

DMG MORI

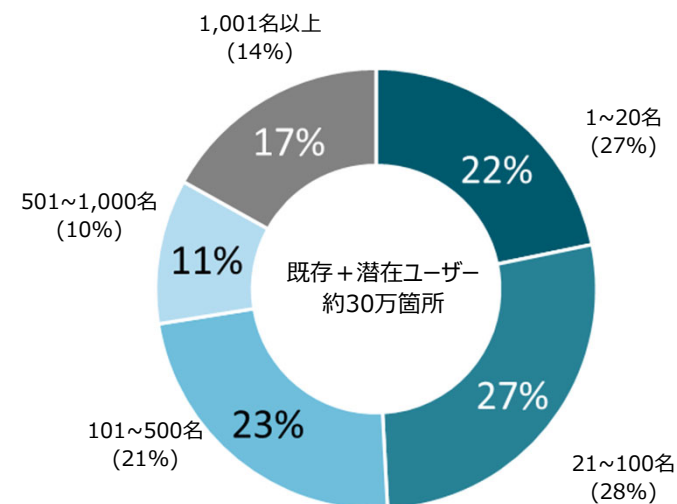
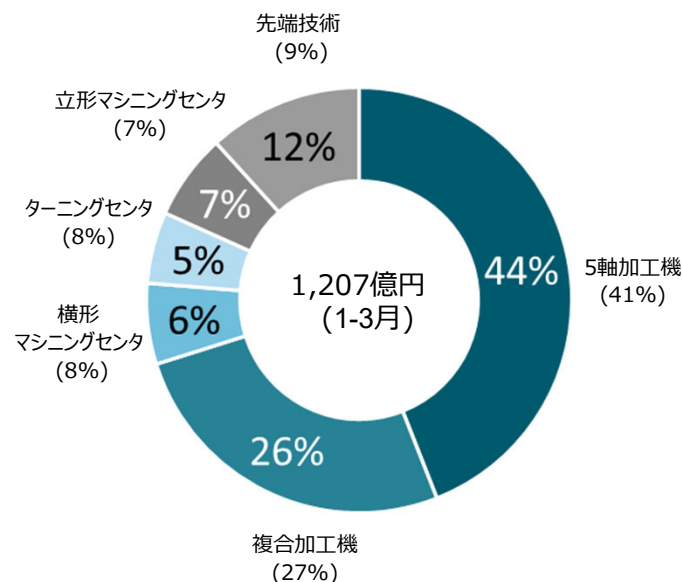
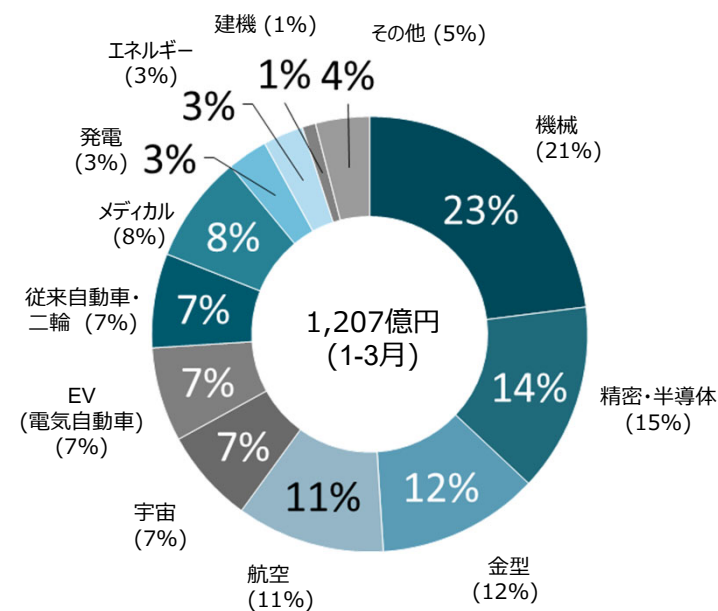
- 5軸加工機、複合加工機、先端技術は堅調。中でも、プレジジョン・ボーリングの受注が好調。3製品群の構成比は82%へ上昇（前年度77%）
- 中堅、大手企業の投資は堅調。中小企業も引合いは順調だが投資の意思決定が長期化

※金額ベース
※カッコ内：2024年1-12月

業種別

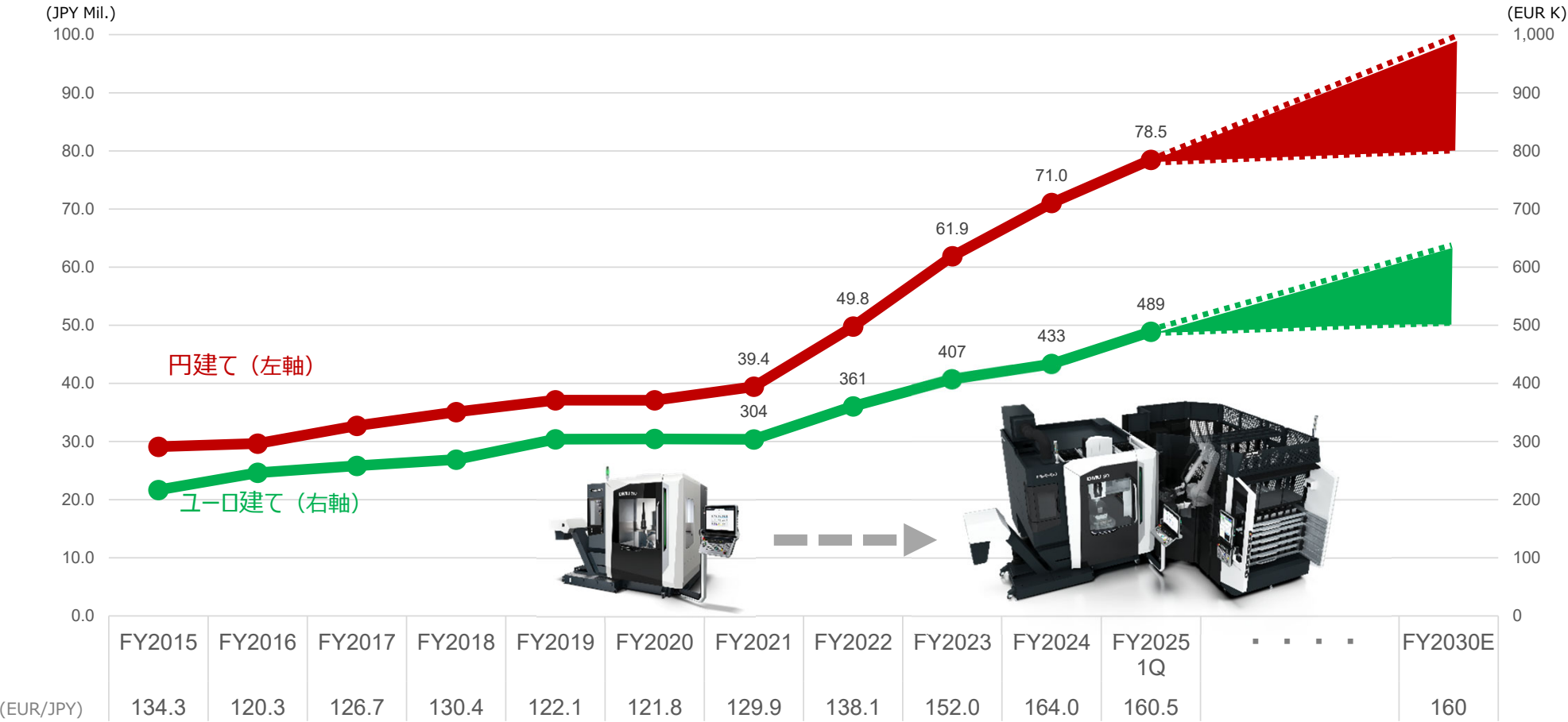
機種別

規模別



1台あたりの機械受注単価推移

- 平均単価は78.5百万円（489千ユーロ）と2030年計画の80百万円（500千ユーロ）の水準に到達
- 大手・中堅企業へのMX戦略浸透が、平均単価の上昇に貢献。今後は、中小への自動化も促進



1. 2025年度第1四半期 (1-3月)決算概要、年度予想

米国関税の影響は軽微、欧州各国の投資喚起政策で需要回復期待

2. 事業環境

3. オープンハウス・フロンテン、シカゴ・プライベートショー、CIMT（北京）

4. MX推進:

- 奈良事業所開所
- ドイツ・ヴェルナウ テクノロジーセンタ（シュトゥットガルト）、リニューアルオープン
- 長岡地区（DMG MORI Precision Grinding/太陽工機、DMG MORI Precision Boring）再編

5. 環境対応、人的資本の取組み

- CDP2024 気候変動「Aリスト企業」認定
- 健康経営銘柄に2年連続選定

オープンハウス フロンテン 2025 | 2月10日 – 21日



DMG MORI

EVENT SUMMARY

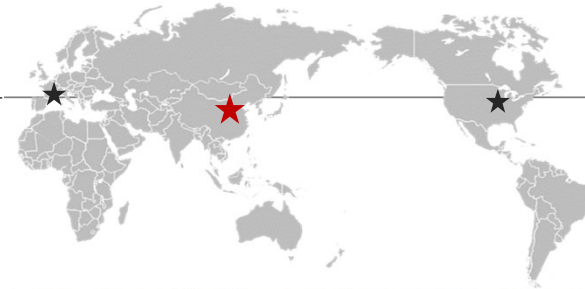
- 開催地: フロンテン工場 (ドイツ)
- 展示スペース: 3,200 m²
- ハイライト: マシニング・トランスフォーメーション (MX)
30周年記念回

主要数値:

- 来訪者: 6,400人
- 来社数: 3,600社
- 新規引合い: 1,800件



CIMT 北京 | 2025年4月21日 – 26日



DMG MORI

EVENTS KEY FACTS

- **開催地:** 北京 (中国)
- **ブース面積:** 702 m²
- **フォーカス:** マシニング・トランスフォーメーション (MX)
テクノロジーエクセレンス
中国国内生産機
- **展示機種リスト:**
 - NLX 2500 I 700 2nd Gen. + MATRIS Light
 - ALC 2500 I 500
 - NTX 500
 - CTX beta 450 TC + Robo2Go
 - DMU 50c
 - DMU 70c + PH Cell 300
 - DMU 125 FD duoBLOCK
 - LT 50 Shape Femto



シカゴ・イノベーションデイズ| 2025年4月29日 – 5月2日



DMG MORI

EVENTS KEY FACTS

- **開催地:** Hoffman Estates, IL (USA)
- **ブース面積:** 2,000 m²
- **フォーカス:** マシニング・トランスフォーメーション (MX)
米国初披露機
教育デー: 製造業の将来の人材育成
- **展示機種リスト(一部抜粋):**
 - NLX 2500 I 700 2nd Gen. (w. Robo2Go)
 - CTX beta 450 TC (Premiere)
 - NZ Tre (Premiere w. bar loader)
 - LASERTEC 30 SLM US (local production)
 - Precision Grinding Vertical Mate 85 2nd Gen. (Premiere)
 - DMU 40 PLUS (w. Robo2Go drawer)



1. 2025年度第1四半期 (1-3月)決算概要、年度予想

米国関税の影響は軽微、欧州各国の投資喚起政策で需要回復期待

2. 事業環境

3. オープンハウス・フロンテン、シカゴ・プライベートショー、CIMT（北京）

4. MX推進:

- **奈良事業所開所**
- **ドイツ・ヴェルナウ テクノロジーセンタ（シュトゥットガルト）、リニューアルオープン**
- **長岡地区（ DMG MORI Precision Grinding/太陽工機、DMG MORI Precision Boring）再編**

5. 環境対応、人的資本の取組み

- CDP2024 気候変動「Aリスト企業」認定
- 健康経営銘柄に2年連続選定



延床面積	約40,000㎡（うち、自動化システム構築エリア約20,000㎡）
社員数	約220人（システムソリューション工場、自動化開発部門）
投資額	約90億円（建物・設備）
建物	工場棟 1階建て（北工場、制御盤工場、南工場） 事務所棟 6階建て（1-2階 応接室・打ち合わせ室 3-4階 オフィスフロア 5-6階 セミナールーム、カフェ）

自動化システム事例



NLX 2500 | 700 2nd Generation
+ ロボットシステムMATRIS Light



INH 63 + パレットハンドリングシステム CPP



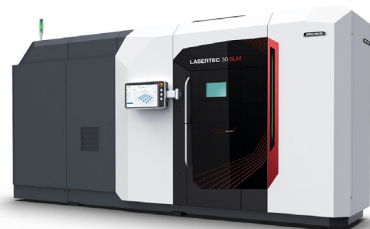
大容量工具マガジンCTS（Central Tool Storage）

奈良商品開発センタ内に「AMイノベーションセンタ」開所 2025年4月

DMG MORI

所在地： 奈良県奈良市三条本町2番1号
(第二本社 奈良商品開発センタ内)

設備機械： LASERTEC 30 SLM 3rd Generation、
LASERTEC 3000 DED hybrid、
LASERTEC 12 SLM 3rd Generation、
LASERTEC 65 DED hybrid、
LASERTEC 30 DUAL SLM



AM ワーク事例

Robo2Goヘッド



アルミニウム
125 x 125 x 103 mm
軽量化
内製部品

ボールねじデフレクタ



M300
34 x 14 x 13.5 mm
軽量化、工程集約
内製部品

刃物台マニフォールド



ステンレス鋼
142 x 209 x 179 mm
部品統合、流路最適化
内製部品

熱交換器



インコネル*
φ180 x 200 mm
一体形状、流路最適化
内製部品

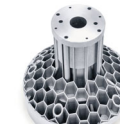
*インコネルは Huntington Alloys Corporation の登録商標です。

内部冷却配管付き金型



工具鋼
35 x 35 x 100 mm
冷却回路の内蔵

パウダーノズルホルダ



アルミニウム
φ160 x 150 mm
軽量化
内製部品

ミーリングヘッド



工具鋼
φ55 x 102 mm
冷却回路の内蔵

SLM方式

ロケットノズル



ステンレス鋼
φ450 x 470 mm
耐熱性・冷却効率向上

タービンハウジング



インコネル / ブロンズ
φ194 x 80 mm
バイメタル
耐熱性・冷却効率向上

ダイカットロール



高速度鋼
φ220 x 1,050 mm
耐摩耗性向上

ドローバー



ハイス鋼
φ16 x 375 mm
耐摩耗性向上
内製部品

熱交換器



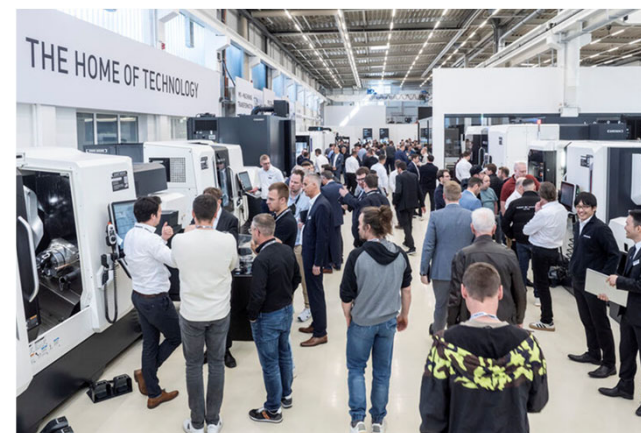
銅アルミニウム合金/
ステンレス鋼
φ200 x 250 mm
バイメタル
耐熱性・冷却効率向上

DED方式

ドイツ・ヴェルナウ（シュトゥットガルト）テクノロジーセンタ：リニューアルオープン 4月

DMG MORI

- ✓ 全面改装、ショールームと事務所スペースを拡張。展示機20台常設
- ✓ 日本製製品のエンジニアリング部門を備え、同製品の欧州におけるハブ



欧州統括会社（DMG MORI EUROPE）建設 進捗状況

DMG MORI

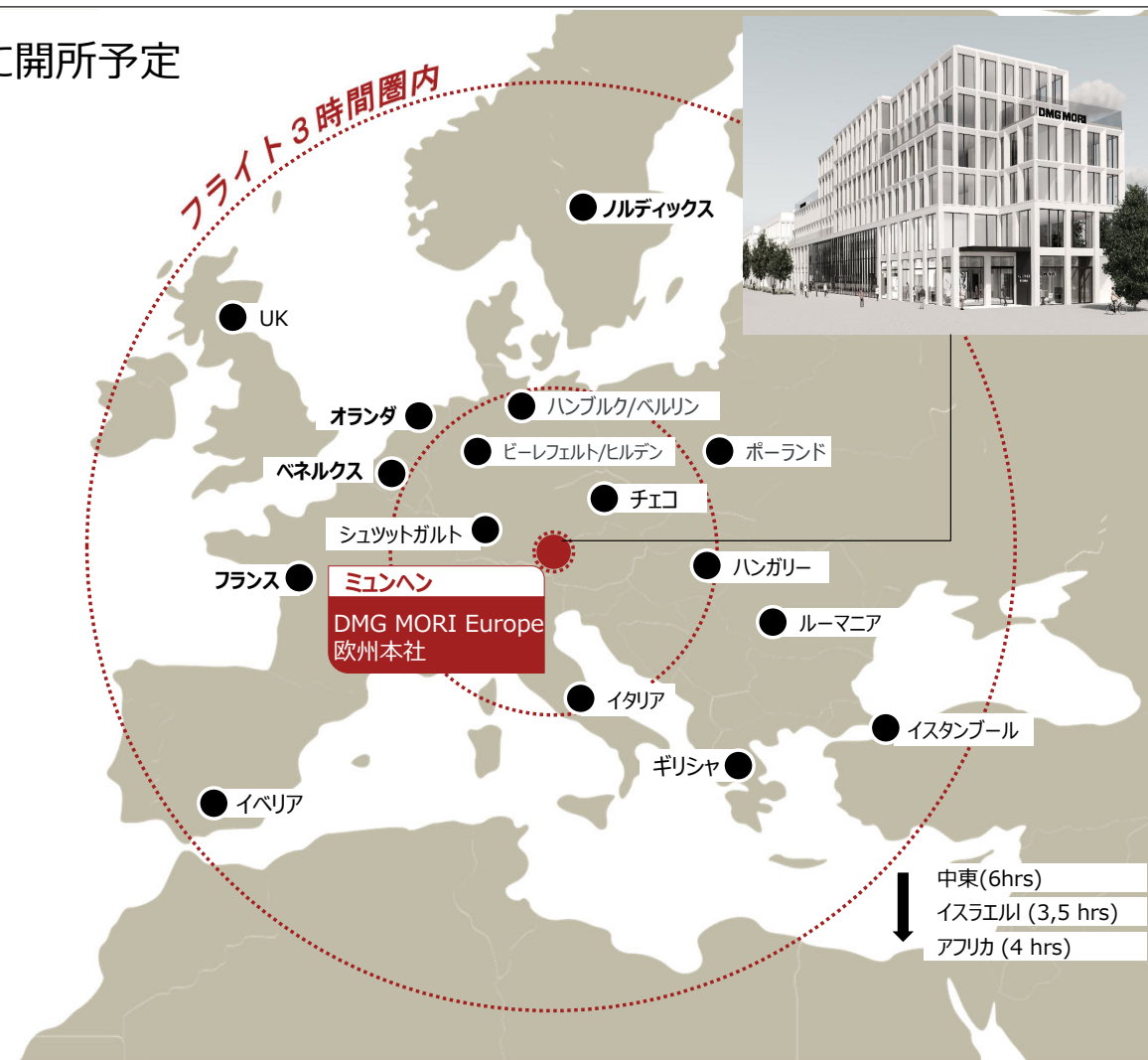
- ✓ 2025年3月 ミュンヘン欧州本社の礎石を設置、2026年に開所予定



プロジェクトパートナーのRH Unternehmensgruppe社と共同でミュンヘンの欧州本社の礎石を設置

Key Facts:

- 床面積10,000㎡で、ミュンヘン中心部と空港へのアクセスに便利な立地
- 1,500㎡のショールーム設置



長岡地区（日本）への投資

DMG MORI

- ✓ DMG MORI Precision Grinding/ 太陽工機 + DMG MORI Precision Boring株式会社
新工場：2026年4Q完成、2027年1Q操業開始予定
- ✓ 長岡地区で約500名雇用
- ✓ 2030年目標：売上高 300億円



グラインディングセンタ CVG-6 + 自動化システム



ボーリングマシン PBN 20

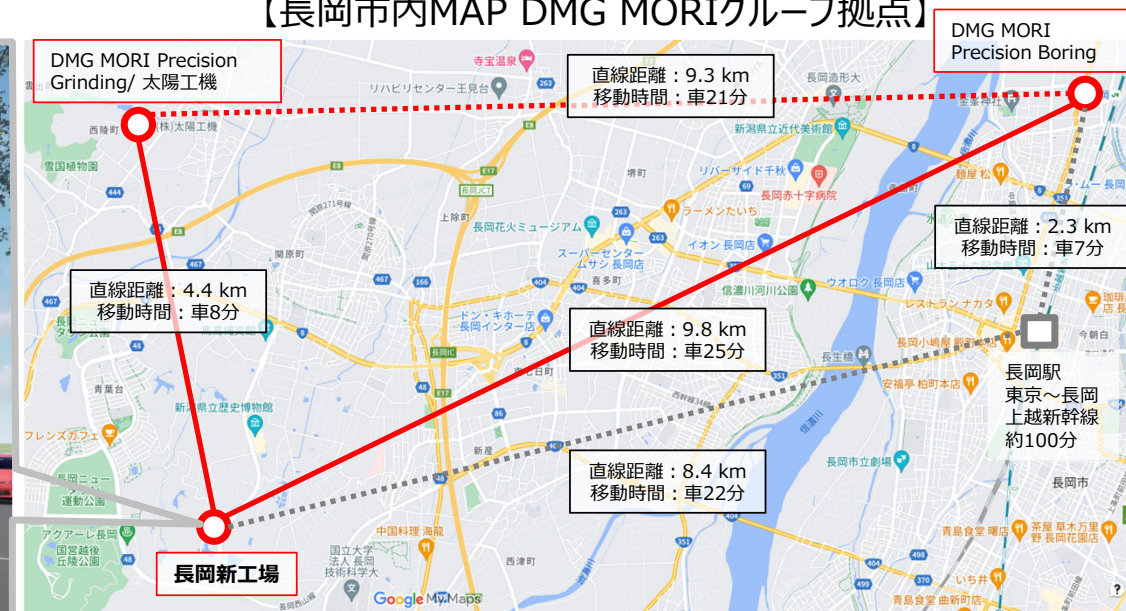
長岡新工場 新潟県長岡市高頭町字中山502番21

設備投資 100億円

【完成予想図 2027年操業開始予定】



【長岡市内MAP DMG MORIグループ拠点】



1. 2025年度第1四半期 (1-3月)決算概要、年度予想

米国関税の影響は軽微、欧州各国の投資喚起政策で需要回復期待

2. 事業環境

3. オープンハウス・フロンテン、シカゴ・プライベートショー、CIMT（北京）

4. MX推進:

- 奈良事業所開所
- ドイツ・ヴェルナウ テクノロジーセンタ（シュトゥットガルト）、リニューアルオープン
- 長岡地区（DMG MORI Precision Grinding/太陽工機、DMG MORI Precision Boring）再編

5. 環境対応、人的資本の取組み

- **CDP2024 気候変動「Aリスト企業」認定**
- **健康経営銘柄に2年連続選定**

CDP2024 気候変動分野でA評価取得

DMG MORI

✓ 「CDP2024」気候変動分野、最高評価の「Aリスト企業」初認定

✓ 伊賀、奈良事業所 両事業所で太陽光全量発電開始

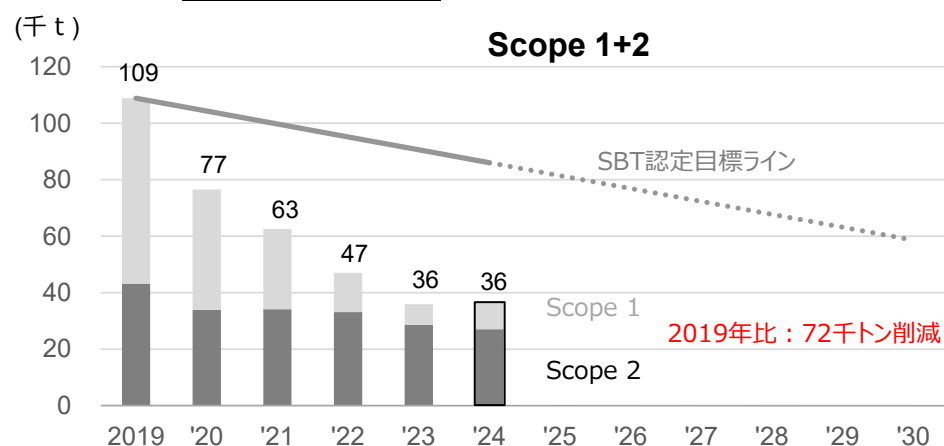


伊賀事業所：
発電量約 14百万kWh/年

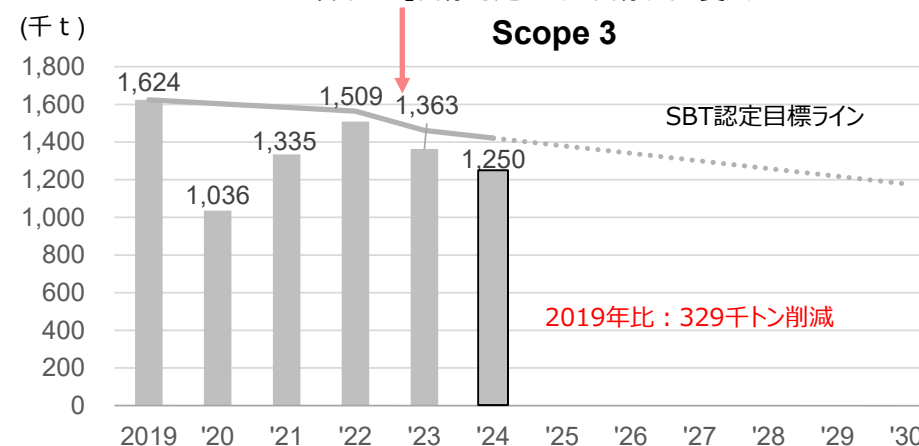


奈良事業所：
同約 3百万kWh/年

CO₂排出量推移



SBT「ネットゼロ」目標認定により、目標ライン変更



人的資本：「健康経営銘柄 2025」に2年連続選定

DMG MORI

✓ 機械部門で2年連続トップ



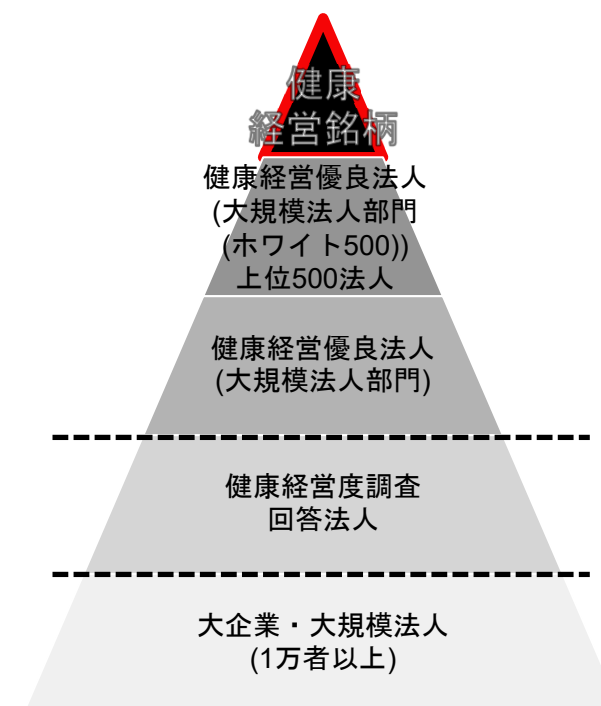
主な評価内容

「勤務間インターバル」、「敷地内全面禁煙」、「人間ドック方式健診（会社負担の各種がん検診を含めた法定項目を上回る）の実施」、「産業保健スタッフによる特定保健指導」、「職場ストレス対策の推進」、「管理職のためのWebinar研修」、「社内フィットネスジムの設置」、「社内食堂のレストラン化」、「健康経営白書の定期発刊」、「健康情報HPの提供」

【健康経営の当社特設サイト】

<https://www.dmgmori.co.jp/sp/health/>

「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。



経済産業省ヘルスケア産業課「健康経営の推進について」を一部改変
[240328kenkoukeieigaiyou.pdf \(meti.go.jp\)](https://www.meti.go.jp/240328kenkoukeieigaiyou.pdf)

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更